

■大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画（R4年度）取組実績

I. 普及啓発の強化

具体的取組内容

- 1 児童・生徒への普及啓発
- 2 大学・専門学校等への普及啓発
- 3 若年層にかかわる機会がある人たちへの普及啓発
- 4 府民への普及啓発
- 5 地域の支援者向けの普及啓発
- 6 消費者向けの普及啓発
- 7 働く人向けの普及啓発
- 8 多様な関係機関と連携したギャンブル等依存症問題啓発週間における普及啓発

実績（R2-4）

数値

1-1. 高校生に対して正しい知識と理解を促進するため高等学校での出前授業を実施

- ▶R2年度：4校 計7回
- ▶R3年度：5校 計8回
- ▶R4年度：11校 計14回

1-2. 教員に対してギャンブル等依存症についての正しい知識と理解を促進するための研修会を実施

- ▶R2年度：1回 参加者計20名
- ▶R3年度：2回 参加者計133名
- ▶R4年度：2回 参加者計120名

1-3. ギャンブル等依存症に関する理解を促進するリーフレットを高校3年生に配布

- ▶R2年度：約10万部
- ▶R3年度：約10万部
- ▶R4年度：約10万部

2. 大学生に対して、依存症の予防啓発の講義を実施

- ▶R2年度：1回
- ▶R3年度：1回
- ▶R4年度：1回

3. 青少年指導員に正しい知識の普及と理解の促進のための研修を実施

- ▶R2年度：1回 参加者計620名
- ▶R3年度：1回 参加者計583名
- ▶R4年度：2回 参加者計181名

4-1. 新成人に対して、正しい知識の普及と理解促進のための啓発チラシを作成し、府内各市町村の成人式で配布

- ▶R2年度：約2万6千部
- ▶R3年度：約2万部
- ▶R4年度：約1万8千部

4-2. 依存症に関する基本的知識等について正しく理解を深めるための広く府民を対象としたセミナーを実施

- ▶R2年度：1回WEB配信 申込者計235名
- ▶R3年度：2回WEB配信 申込者計473名
- ▶R4年度：2回WEB配信 申込者計1471名

5. 民生委員・児童委員が参加する研修会等において、正しい知識の普及や相談窓口等に関する情報を周知

6. 消費生活センターにおいてリーフレットを配架

7. 職場の産業保健担当者へ正しい知識の普及や相談窓口の周知のための研修を実施

- ▶R2年度：1回 参加者計11名
- ▶R3年度：0回
- ▶R4年度：1回

8. ギャンブル等依存症問題週間におけるポスターや動画を作成し、関係機関・関係事業者と協力し啓発を実施

（アルコール健康障がいと依存症に関する研修で啓

II. 相談支援体制の強化

具体的取組内容

- 1 さまざまな相談窓口等での相談対応力向上
- 2 本人及び家族等への相談支援の充実
- 3 相談窓口等の情報提供
- 4 回復支援の充実

実績 (R2-4)

1. 様々な関係機関の職員向けに経験等に応じた依存症相談対応研修を実施
2. 府内相談拠点において、ギャンブル等依存症の本人及び家族への相談や訪問を実施
3. ホームページやリーフレット等を通じて相談機関の情報を発信
4. 依存症からの回復に向けた本人を対象としたプログラムや、依存症についての理解や本人への対応について学ぶ家族向けプログラムを実施

数値

- ▶R2年度：3回 参加者計123名
- ▶R3年度：4回 参加者計139名
- ▶R4年度：5回 参加者計222名

- ▶R2年度：相談者547名
- ▶R3年度：相談者733名
- ▶R4年度：相談者844名

◎集団回復プログラム

- ▶R2年度：2クール（第1クール実11名、第2ク
- ▶R3年度：2クール（第1クール実8名、第2ク
- ▶R4年度：2クール（第1クール実12名、第2ク

◎家族サポートプログラム

- ▶R2年度：1クール（実9名）
特別講座 4回（延27名）
- ▶R3年度：2クール（第1クール実6名、第2ク
- 特別講座 3回（延13名）
- ▶R4年度：2クール（第1クール実5名、第2ク
- 特別講座 3回 延24名

III. 治療体制の強化

具体的取組内容

- 1 ギャンブル等依存症の治療が可能な医療機関の充実
- 2 医療機関と自助グループ・民間団体との連携
- 3 依存症治療拠点機関・専門医療機関の情報提供
- 4 専門治療プログラムの普及

実績 (R2-4)

数値

1-1. ギャンブル等依存症専門医療機関の確保

- ▶R2年度：5医療機関
- ▶R3年度：6医療機関
- ▶R4年度：6医療機関

1-2. 精神疾患診療を実施する医療機関（ギャンブル等依存症対応可）の確保

- ▶R2年度：26医療機関
- ▶R3年度：25医療機関
- ▶R4年度：29医療機関

1-3. 治療可能な医療機関を増やすために精神科医療機関職員を対象としたギャンブル等依存症についての研修を実施

- ▶R2年度：1回 参加者59名（参加医療機関数）
- ▶R3年度：1回 参加者12名（参加医療機関数）
- ▶R4年度：1回 参加者46名（参加医療機関数）

1-4. 国のギャンブル等依存症治療指導者養成研修の受講促進

- ▶R2年度：2回 修了者6名（うち医師3名）
- ▶R3年度：2回 修了者15名（うち医師2名）
- ▶R4年度：1回 修了者7名（うち医師2名）

2. 依存症患者受診後支援事業（国モデル事業）を実施

3. 依存症治療拠点機関による専門治療プログラムの普及を支援

- ▶R2年度：2医療機関
- ▶R3年度：1医療機関
- ▶R4年度：1医療機関

4. 府ホームページやリーフレット等を通じた依存症治療拠点機関・専門医療機関の周知を実施

IV. 切れ目のない回復支援体制の強化

具体的取組内容

- 1 自助グループ・民間団体が行うミーティング、普及啓発、相談等の活動への支援
- 2 自助グループ・民間団体との連携
- 3 連携協力体制の強化

実績 (R2-4)

- 1-1. 大阪アディクションセンター（OAC）に加盟する機関・団体が新たに取り組むミーティングや相談事業への補助を実施（大阪府早期介入・回復継続支援事業）
 - 1-2. 自助グループや民間団体等の情報を掲載した冊子を研修会等で配布
 - 1-3. 自助グループや民間団体等による公益性の高い取組みに対する後援
 2. OACミニフォーラム（交流会）を開催
 - 3-1. OACメールリストを活用し、加盟機関・団体に対して、自助グループ等に関する情報を提供
 - 3-2. 依存症関連機関連携会議及び専門部会を通じて、各機関・団体の取組みを共有し、本人・家族等への支援について協議・検討
- ギャンブル等依存症地域支援体制推進部会の開催

数値

- ▶R2年度：交付4団体 5事業
- ▶R3年度：交付4団体 4事業
- ▶R4年度：交付6団体 6事業

- ▶R3年度：計5回 参加者計128名
- ▶R4年度：計9回 参加者計337名

- ▶R2年度：利用件数51件
- ▶R3年度：利用件数74件
- ▶R4年度：利用件数90件

- ▶R2年度：2回
- ▶R3年度：2回
- ▶R4年度：2回

- ▶R2年度：1回
- ▶R3年度：2回
- ▶R4年度：1回

V. 大阪独自の支援体制の構築

具体的取組内容

- 1 依存症総合支援センターの設置
- 2 依存症治療・研究センターの設置
- 3 依存症総合支援センターと依存症治療・研究センターの連携の確保

実績 (R2-4)

数値

1-1. 依存症総合支援センターを設置 (R2年度)

1-2. 依存症の基礎知識やメンタルヘルスについて高校生に伝えるための予防啓発ツールを作成

1-3. 「ギャンブル等依存症簡易相談支援アプリ」の開発

1-4. 多職種によるギャンブル等依存症の専門相談及び集団回復プログラムを実施

- ◎ 専門相談
 - ▶ R2年度：179件
 - ▶ R3年度：231件
 - ▶ R4年度：238件

- ◎ 集団回復プログラム
 - ▶ R2年度：2クール
 - ▶ R3年度：2クール
 - ▶ R4年度：2クール

- ◎ 家族サポートプログラム
 - ▶ R2年度：1クール特別講座4回
 - ▶ R3年度：2クール特別講座3回
 - ▶ R4年度：2クール特別講座3回

- ◎ 保健所プログラム支援
 - ▶ R2年度：7件
 - ▶ R3年度：5件
 - ▶ R4年度：18件

1-5. 多職種による、地域の相談窓口へのコンサルテーションや研修の実施により地域支援体制を整備

- ◎ コンサルテーション
 - ▶ R2年度：5件
 - ▶ R3年度：2件
 - ▶ R4年度：5件

- ◎ 地域の相談窓口の研修
 - ▶ R2年度：計4回
 - ▶ R3年度：計7回
 - ▶ R4年度：計5回

1-6. 大阪府依存症関連機関連合会議・部会の開催、OACの運営により連携協力体制を構築

2-1. 依存症治療・研究センターを設置 (R2年度)

2-2. 治療拠点機関の機能強化に併せ、疾患や専門治療の調査・研究を実施

3-1. 依存症総合支援センターと依存症治療・研究センターの双方の取組みの共有や連携のための会議開催

- ▶ R2年度：4回
- ▶ R3年度：2回
- ▶ R4年度：4回

3-2. OATISのホームページを開設 (R2年度)